

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 博物館環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 博物館 総務部管理調整係 電話番号：0575-28-3111(内250)

E-mail：c21804@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 39,541 千円 (前年度予算額： 10,699 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,699	0	0	0	0	0	0	9,500	1,199
要求額	39,541	0	0	0	0	0	0	0	39,541
決定額	39,541	0	0	0	0	0	0	35,500	4,041

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

○屋上シート防水改修工事

マイ・ミュージアム棟は、平成7年3月の建築以来、27年を経過し、屋上防水等が経年劣化(回収サイクルは20年)しており、県有施設中長期保全計画に基づき、令和5年度に屋上防水改修工事設計委託し、令和6年度に改修工事を実施する。

県有施設中長期保全計画に基づき、計画的に工事を行うことにより、屋上防水等の機能や性能の維持を図り、より良い環境を整備することができる。

○エレベーター改修工事

マイ・ミュージアム棟のエレベーターは、平成7年3月の設置以来、27年を経過し、経年劣化(更新サイクルは30年)している。また、このエレベーターは、安全装置の一つである戸開走行保護装置がついておらず、早急に更新する必要がある。県有施設中長期保全計画に基づき、令和5年度にエレベーター改修工事設計委託し、令和6年度に改修工事を実施する。

県有施設中長期保全計画に基づき、計画的に設計委託、工事を行うことにより、エレベーターの機能や性能の維持を図り、より良い環境を整備することができる。

○LED照明

LED照明は、従来の蛍光灯照明と比べ省エネ性能が高いため二酸化炭素排出量削減の一助となり、また、消費寿命が長いこと、普及が加速している。これにより、企業の製造する照明器具はLED器具への生産切り替えが進み、蛍光灯器具の製造中止が打ち出されつつある。そのため、博物館に設置された従来の照明器具からLED照明器具への更新を計画的に行うことにより、永続的な機器の活用と省電力によるコスト削減を図る。

(2) 事業内容

屋上シート防水改修工事、エレベーター改修工事は、共に令和5年度に設計委託し、令和6年度に工事を施工する。

令和6年度においてはマイミュージアム棟1階エントランスホールの照明をLED化する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細	
委託料	2,656	屋上防水改修工事監理委託	780
		エレベーター改修工事監理委託	1,876
工事請負費	36,885	屋上防水改修工事	13,716
		エレベーター改修工事	21,338
		LED照明	1,831
合計	39,541		

決定額の考え方

財源には、県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画に基づき、計画的に修繕工事、設置工事を実施
長寿命化計画を策定し、計画的にLED設置

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は令和2年度までに個別施設ごとの長寿命化計画を策定することとなっている。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県有施設中長期保全計画に基づきR5年度の実施設計に基づき、R6年度に工事を実施することにより、屋上防水等、エレベーターの機能や性能の維持を図る。

館内照明のLED化により、二酸化炭素排出量及び光熱費の削減を目指す。また、展示品の保護環境の改善を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
(屋上防水、エレベーター) R5年度～R6年度までの2年計画	0	0	0	50	100	0%
指標名	事業開始前 (H29)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R13)	達成率
(LED照明) H30年度～R13年度までの14年計画	0	35	40	40	100	35%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・照明を蛍光灯からLED照明に取替えることで、消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないことから、展示室の展示品を熱から保護することができた。</p> <p>指標① 目標：100 実績：20 達成率：20%</p>
令和3年度	<p>(LED照明) 前年度に引き続き、照明を蛍光灯からLED照明に取替えることで、消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないことから、展示室の展示品を熱から保護することができた。</p> <p>指標① 目標：100 実績：30 達成率：30%</p>
令和4年度	<p>(LED照明) 前年度に引き続き、照明を蛍光灯からLED照明に取替えることで、消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないことから、展示室の展示品を熱から保護することができた。</p> <p>指標① 目標：100 実績：35 達成率：35%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	(LED照明) 二酸化炭素排出量の削減、消費寿命の長期化、省電力によるコスト削減を図るため、事業の必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	(LED照明) 消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないことから、展示室の展示品を熱から保護することができ、事業の有効性は高い。
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	(LED照明) 長寿命計画を策定し、平成30年度から令和10年度までの10年計画で計画的にLED照明に取替える予定をしておき、事業の効率性は高い。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 屋上防水等、エレベーターの機能や性能の維持を図り、施設の計画的かつ効率的な管理を推進していく。 LED照明の急速な普及に対応し、館内の照明を順次LED化していく。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 来館者の安全・安心の確保を目的とした環境の整備に努める。 来館者の方に影響のある箇所から、優先的に工事を実施していく。 来館者の方に影響のある箇所から、優先的にLED化を実施していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	